

同時通訳システム 操作マニュアル

— 対面会話（受付・窓口）用 —



2026年3月

目次

1. 用語の定義	3
2. はじめに.....	3
3. システム概要	3
3. 1 目的	3
3. 2 本システムの3つの特長.....	3
4. 本システムに使用する機器紹介および設置方法	4
4. 1 機器紹介	4
4. 2 配線方法	5
5. システム起動および動作確認（毎日／開館前の作業）	8
5. 1 システムの起動	8
5. 2 動作確認	11
6. システム利用時の操作（毎日／開館中）	12
7. タブレット端末での対応	13
7. 1 タブレットの接続方法.....	13
7. 2 タブレットでの利用方法	15
8. 本システム利用時の会話のコツ.....	17
9. システム停止とパソコンのシャットダウン（毎日／閉館後の作業）	18
10. システムトラブル時の対応	20
10. 1 音声認識結果が表示されない場合	20
10. 2 音声認識結果の表示が遅い場合	20
10. 3 モバイルモニターのタッチ操作が効かない場合	20
10. 4 ポインター（白い矢印）を見失ってしまった場合	20
10. 5 相手の発話の回り込みや雑音により、意図しない発話内容が出力される場合.....	21
10. 6 翻訳結果の表示画面が消えてしまった場合	21
本システムご利用にあたってのお問い合わせ先.....	22

1. 用語の定義

本操作マニュアルは以下の用語を使用します。

同時通訳システム	国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の音声翻訳技術をもとに、マインドワードが開発した同時通訳システムです。話した内容をリアルタイムで多言語に翻訳し、テキストと音声に変換します。
SUGOI	同時通訳システムと接続して、翻訳結果を表示するユーザーインターフェース（UI）を構成します。
Docker for Windows	同時通訳システムを動かすための「Docker コンテナ」を構築・設定するための Windows プラットフォームです。
bat ファイル	Windows 環境で実行できるコマンドをまとめて記述したテキストファイルです。アイコンをダブルクリックすると、あらかじめ書かれた一連の処理が自動で実行されます。

2. はじめに

本マニュアルでは、同時通訳システム（以下、本システム）の利用手順について説明します。PC および本システムの起動から操作、停止までの基本的な流れを解説しています。

本システムは、マイクから入力した音声を多言語に翻訳し、テキストと音声で出力するものです。主に受付や窓口での対面会話における通訳用途を想定していますので、ご利用前に本書をご確認のうえ、正しくお使いください。

3. システム概要

3. 1 目的

本システムは、国立公園等の自然環境における多言語コミュニケーションの円滑化や、解説品質の向上のために、同時通訳技術の研究開発によって作られました。外国人観光客に、日本の自然や文化をより深く理解していただくことで、日本の魅力や価値への共感を育み、持続可能な観光と国際交流の促進に貢献します。

3. 2 本システムの 3 つの特長

- (1) 日本語から英語・中国語・韓国語へスムーズな同時音声通訳が可能
- (2) 地名や生物・植物名等自然環境を有する場での解説に必要な専門用語の辞書カスタマイズにより、自然環境の魅力を正確に翻訳
- (3) 国立公園等における特有の制約、通信環境や電源等を踏まえた実用的な設計

4. 本システムに使用する機器紹介および設置方法

4. 1 機器紹介

本システムは、以下の機器を使用します。全ての機器が揃っていることを確認してください。



①	ノート PC	本システムを動かすためのメインのノートパソコン。 充電ケーブルが付属しています。
②	モバイルモニター	パソコンと接続し、モニターに映る翻訳画面を利用者に向けて表示します。 パソコンと接続するためのケーブルが付属しています。
③	USB ドングル	本システムを起動するために必要な機器。パソコンの USB ポートに差し込んで使用します。
④	オーディオ インターフェース	パソコンとマイクを繋ぐための機器。パソコンと接続するためのケーブルが付属 しています。ダイヤルの位置やスイッチは設定済みですので、絶対に触らない ようにしてください。
⑤	マイク	来訪者と接遇者が使用するマイク。それぞれにオーディオインターフェースに 接続するためのケーブルが付属しています。
⑥	スピーカー	スピーカーは、翻訳結果の合成音声を出力するために使用します。スピーカ ー本体から、パソコンと接続するためのケーブルが 2 本出ています。
⑦	電源タップ	必要時応じて使用してください。

4. 2 配線方法

※機器の設置には、平坦で安定した場所を確保してください。また、排熱のため、できるだけ通気性の良い場所に配置してください。

以下の配線図のように、ノート PC とその他の機器を接続します。それぞれのケーブルには、差込口に同じ色のシールが貼ってありますので、そちらを目印に配線を行ってください。

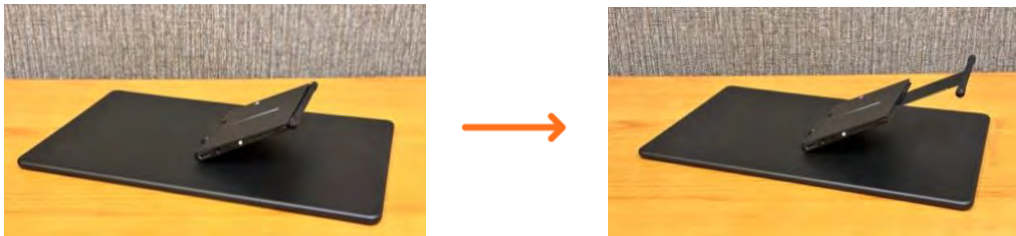


(1) ノート PC に電源ケーブルを接続してください。



(2) モバイルモニターをノート PC に接続します。

まず、モニターの背面にあるスタンドを引き出して、立ててください。



- (3) モバイルモニターとノート PC に、両側が Type-C になっている白いシールのついたケーブルを差してください。

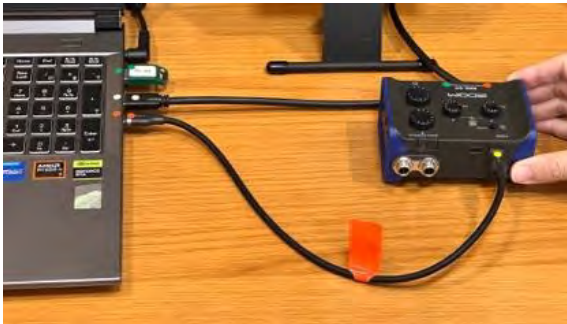


※Type-C ケーブル

- (4) USB ドングルは、ノート PC の緑のシールのついた USB ポートに差し込んでください。



- (5) オーディオインターフェイスをノート PC に接続します。両側が Type-C になっているケーブルの、黄色いシールの方をオーディオインターフェイス側に、赤いシールの方をパソコン側に差してください。



- (6) マイクは、赤いシールのついたケーブルと、緑のシールのついたケーブルを使用します。シールの付いている方の先端をそれぞれオーディオインターフェイスに差してください。反対側はマイク本体に差してください。



(7) スピーカーは、本体から出ているコードの A と書かれた先端と B と書かれた先端をそれぞれノート PC の A と B のシールの貼られた差し込み口に差し込んでください。



以上で配線は完了です。



【 注意事項 】

ハウリングや音のかぶりを防ぐため、マイクの先端とスピーカーは 50cm 以上離して設置してください。また、マイク同士も 50cm 以上間隔をあげてください。



5. システム起動および動作確認（毎日／開館前の作業）



システムのアップデートは絶対に行わないでください。アップデートを推奨するウィンドーが表示されてもアップデートは行わず、ウィンドーを閉じてください。

5. 1 システムの起動

以下の手順で、システムの起動および動作確認を行ってください。

- (1) ノート PC の電源を入れてください。右の画面が表示されたら Enter キーを押します。



- (2) Windows へログインをするため、以下のユーザー名とパスワードを入力し、Enter キーを押します。
ユーザー名： smi パスワード： smi



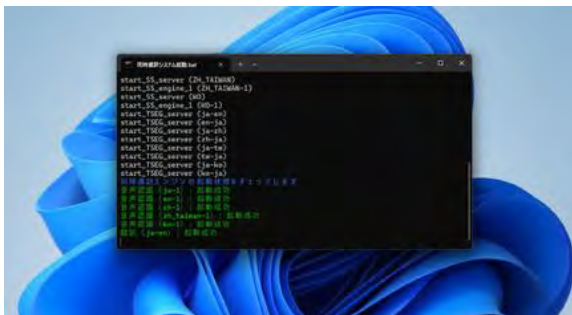
- (3) Windows にログインができれば、まず、モバイルモニターとノート PC を繋いでいるケーブルを抜き差ししてください。これは、モバイルモニターのタッチパネルの機能を有効にするための手順です。



- (4) ノート PC のデスクトップ上にある「同時通訳システム起動.bat」をダブルクリックしてください。クリックすると、同時通訳システムが起動します。



- (5) 「同時通訳システム起動.bat」の起動中はコマンドプロンプトという黒いウィンドウが表示されます。コマンドプロンプトは、絶対に閉じないでください。

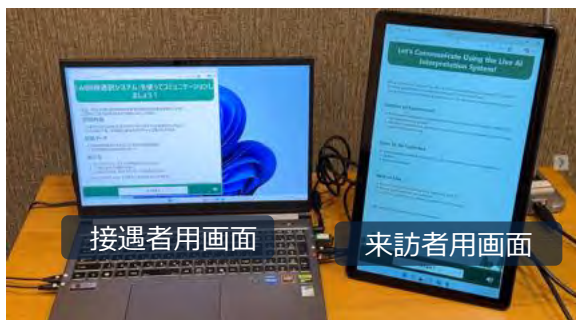


- (6) 起動が完了すると、「起動が完了しました」というメッセージが表示されますので、メッセージの「OK」ボタンをクリックしてください。メッセージとコマンドプロンプトが終了し、同時通訳システムの起動が完了します。

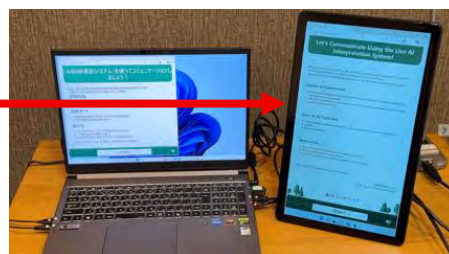
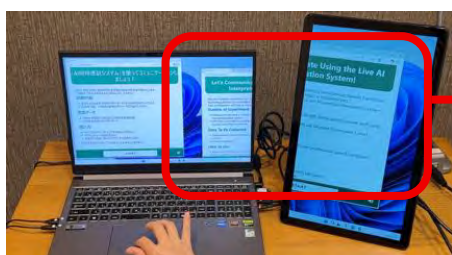


(7) 起動が完了すると、2つの画面が表示されます。日本語で表示されているのが、接遇者がノートPCで使用する画面です。英語で表示されているのは、来訪者がモバイルモニターで使用する画面です。

来訪者用の画面がノートPCに表示されている場合は、ノートPCのタッチパッドで画面をドラッグし、画面右端から外にスライドさせてください。すると、モバイルモニターに画面が移動します。画面がモバイルモニター側に移動したら、画面の右上にある[最大化]ボタンをクリックします。

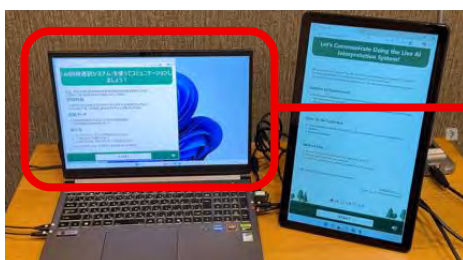


※2026年4月より、来訪者用の画面は上記のデザインに変わります。

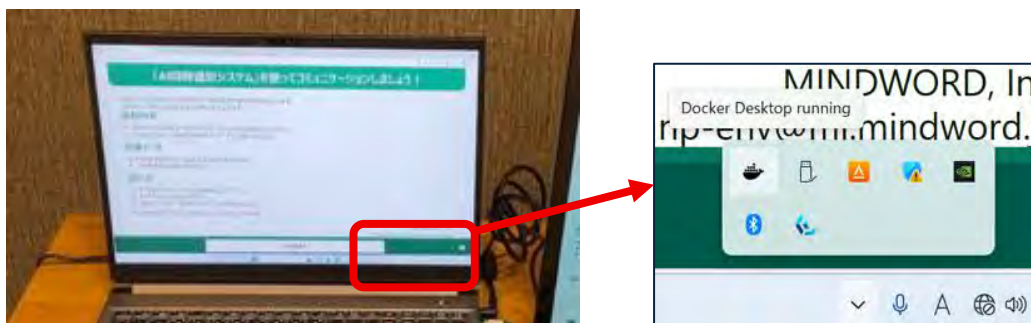


※タッチパッドでのドラッグ操作がうまくいかない場合は、タッチパッドで来訪者用の画面をクリックし、[Windows] + [Shift] + [→] (右矢印) 同時に押してください。画面がモバイルモニター側に移動したら、画面の右上にある[最大化]ボタンをクリックします。

(8) モバイルモニター画面の設定が完了したら、ノートパソコンのシステムスタート画面も[最大化]ボタンをクリックしてください。



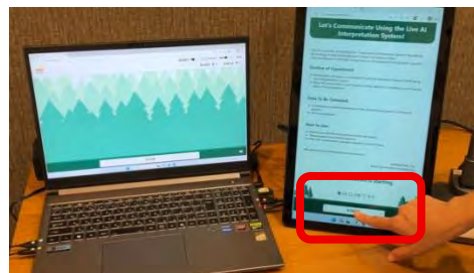
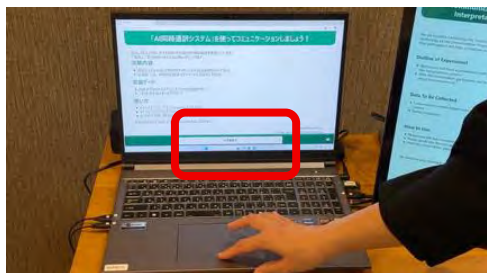
- (9) 画面右下のタスクトレイに、こちらのアイコンが表示されていることを確認します。アイコンが表示されていれば、システムの起動完了です。



5. 2 動作確認

以下の手順で動作確認を行ってください。

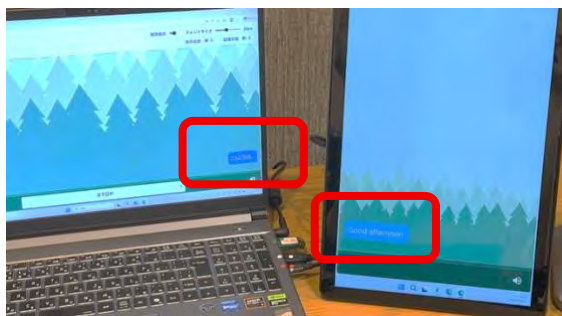
- (1) 接遇者側の画面の「スタート」をクリックしたあと、来訪者側の画面の「スタート」ボタンをタップしてください。



- (2) マイクのスイッチをオンにしてください。



- (3) 接遇者側のマイクで「こんにちは」と話してみてください。来訪者側の画面に「Good afternoon.」の文字が表示されるとともに、スピーカーから「Good afternoon.」と音声が出れば、動作確認の完了です。



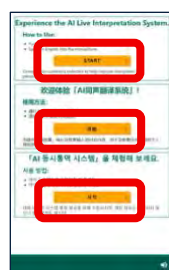
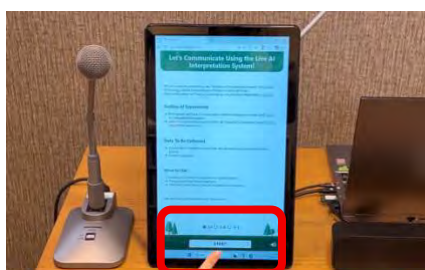
- (4) 接遇者側の画面で「ストップ」ボタンをクリックすると、来訪者側、接遇者側の画面ともにスタート画面に戻ります。



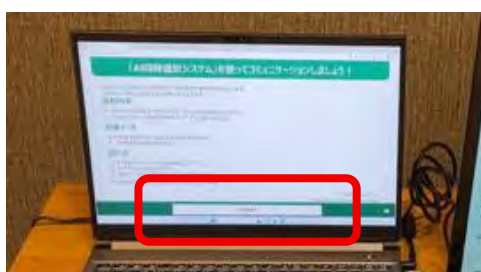
※ここまでの設定で動作に問題がある場合は、P.20 システムトラブル時の対応を参照してください。

6. システム利用時の操作（毎日／開館中）

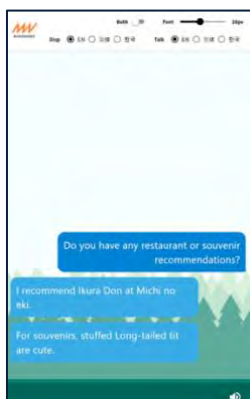
- (1) 来訪者は、モバイルモニターのスタート画面にて、利用する言語のスタートボタンをタップします。同時に、接遇者はノート PC の画面上のスタートボタンをクリックしてください。



※2026年4月以降の来訪者用の画面



- (2) スタートボタンを押すと、画面が切り替わり、対話画面が表示されます。会話の内容が翻訳され、相手側の画面に表示されます。
- ・右寄せの吹き出し（濃い青）：自分の発話内容
 - ・左寄せの吹き出し（水色）：相手の発話内容



- (3) 会話を終了する場合は、接遇者側の画面でストップボタンをクリックしてください。接遇者側と来訪者側の画面がともにスタート画面に戻ります。



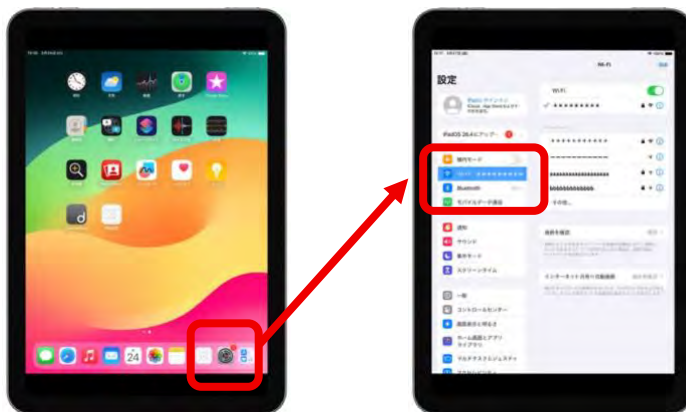
7. タブレット端末での対応

展示パネルの前や建物の入口付近等、カウンターから離れた場所での対応時は、付属のタブレットをご利用ください。

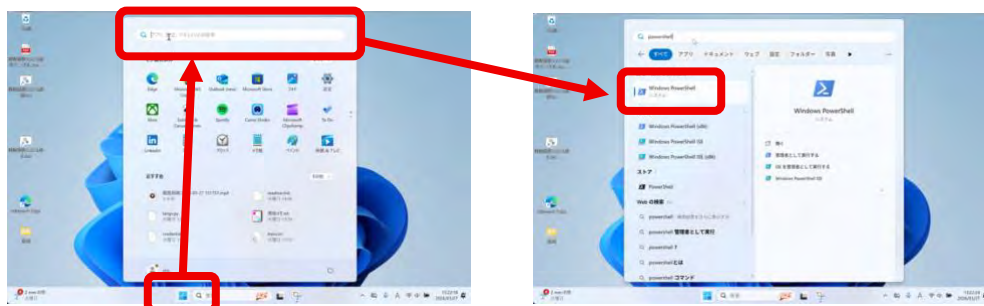
7. 1 タブレットの接続方法

- (1) タブレットをご利用の際は、Wi-Fi に接続してください。タブレットの「設定」アイコンをタップし、Wi-Fi に接続します。

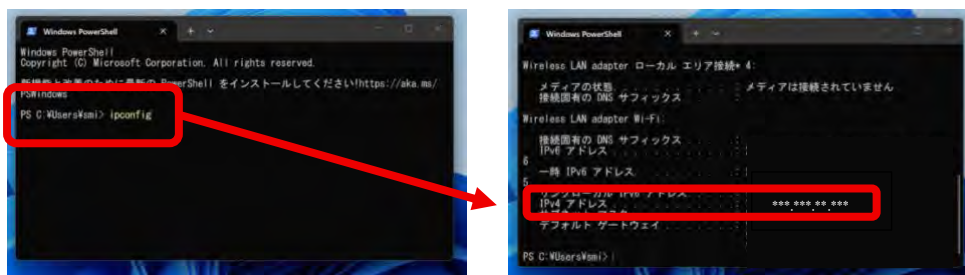
このとき、同時通訳システムのパソコンと同じ Wi-Fi に接続してください。Wi-Fi が複数表示される場合は、同じネットワークに接続されていることをご確認ください。



- (2) 次に、同時通訳システムのパソコンで IP アドレスを確認します。画面下の Windows マークをクリックし、検索バーに「PowerShell」と入力してください。表示された「Windows PowerShell」をクリックすると、コマンド入力画面が開きます。



(3) コマンド入力画面で「ipconfig」と入力すると、IP アドレスが表示されます。表示された IP アドレスをメモしてください。



(4) タブレットで「同時通訳」のアイコンを開き、画面右上の三本線をタップし、「サーバー」を選択してください。



(5) IP アドレスの入力画面が表示されますので、(3) でメモしたパソコンの IP アドレスを入力してください。



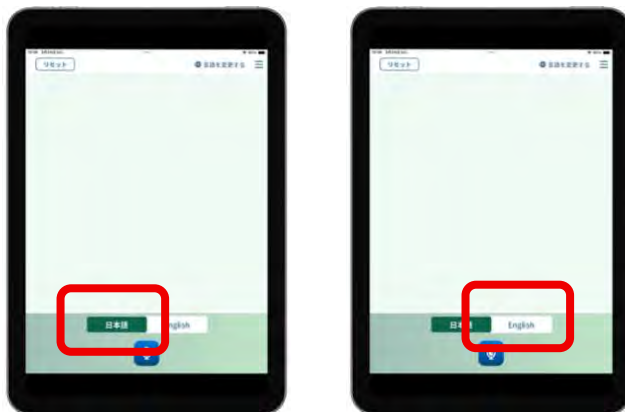
以上で、タブレットの接続は完了です。

7. 2 タブレットでの利用方法

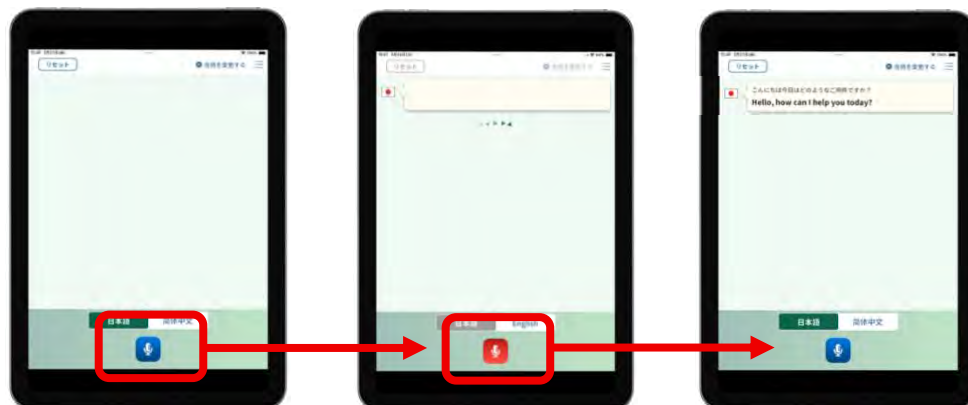
(1) タブレットで「同時通訳」のアイコンを開きます。



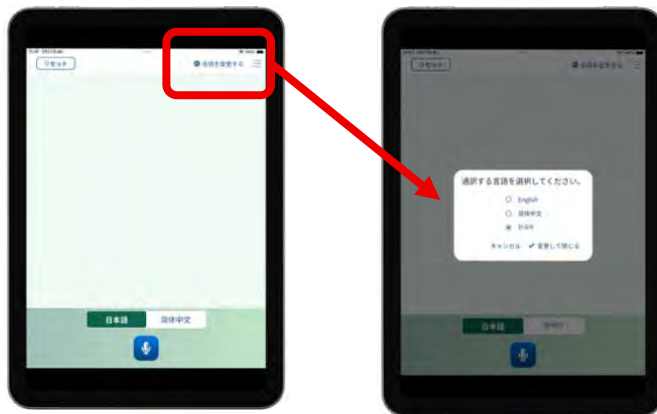
(2) 接遇者が話すときは日本語を選択してください。来訪者が英語で話すときは、「English」を選択してください。



(3) 青いマイクのボタンをタップし、発話してください。音声入力中は、マイクが赤くなります。話し終わったら再度マイクのボタンをタップしてください。



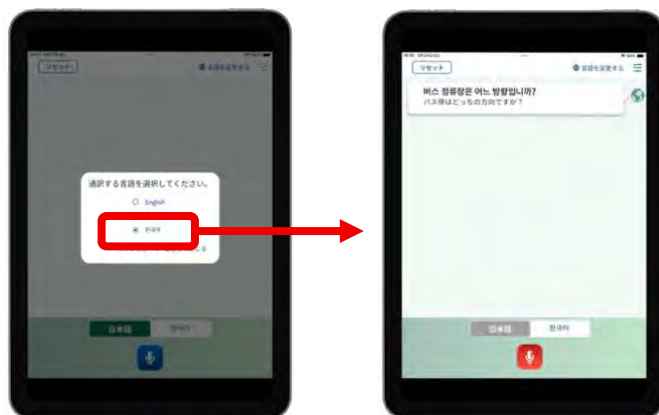
(4) 来訪者側の言語を切り替える際は、右上の「言語を変更する」をタップしてください。



*「简体中文」を選択すると、以下のような画面になります。



*「한국어」を選択すると、以下のような画面になります。



8. 本システム利用時の会話のコツ

本システムをよりスムーズにご活用いただくため、会話時のポイントを紹介します。

(1) 普段どおりのスピードで話す

話すスピードは、普段どおりで問題ありません。

ゆっくり話す必要はなく、自然な会話速度で十分に認識されます。

(2) 伝わらない場合は、文のはじめからもう一度話す

もし意図した内容が伝わらなかった場合は、落ち着いてもう一度お試しください。

その際は、単語ではなく、文全体を言い直していただくことで、認識精度が向上します。

(3) マイクに顔を向けて、はっきり話す

発話時はマイクの方向を意識し、はっきりと発音してください。

顔をそらした状態や小さな声ですと、音声为正しく拾われない場合があります。

(4) 主語（誰が）をつけて話す

「あなたは〇〇ですか？あなたが探しているのは〇〇ですか？」のように主語をつけて話すことで翻訳精度

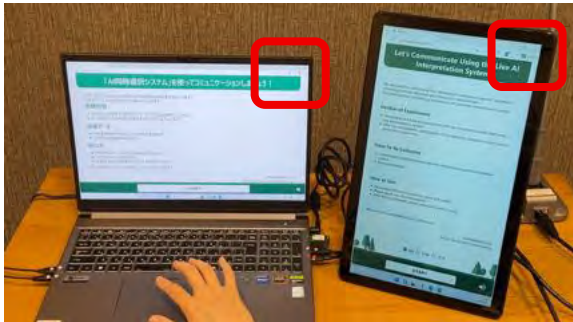
も向上します。

(5) 相槌やクッション表現を取り入れる

相槌を打ったり、「少々お待ちください」「お調べしますね」といったクッション表現を取り入れたりすることで、会話とシステム処理の流れが整い、来訪者の安心感にもつながります。

9. システム停止とパソコンのシャットダウン（毎日／閉館後の作業）

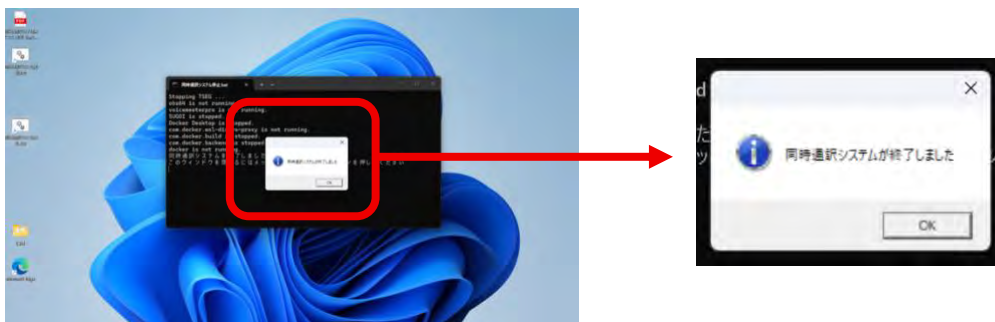
(1) 来訪者側と接遇者側の画面の右上にある閉じるボタンをそれぞれクリックして、画面を閉じます。



(2) パソコンのデスクトップ上にある「同時通訳システム停止.bat」をダブルクリックして実行します。停止処理中は、起動時と同様にコマンドプロンプトが表示されます。コマンドプロンプトは絶対に閉じないでください。



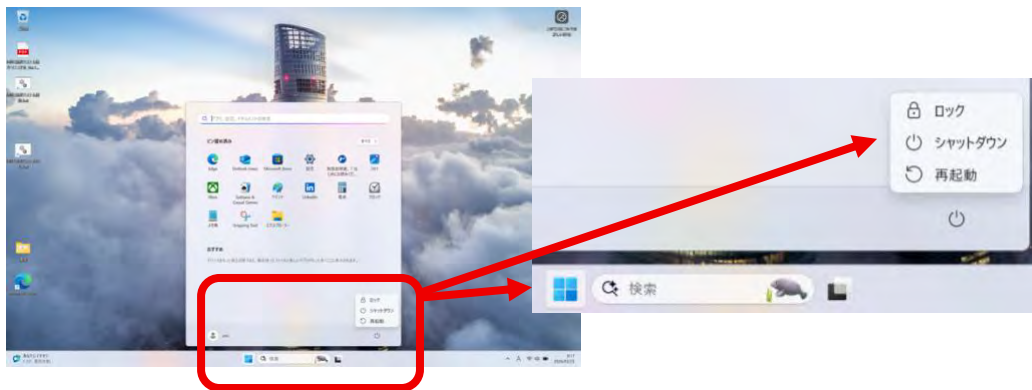
(3) 処理が完了すると、「同時通訳システムが終了しました」というメッセージが表示されますので、メッセージの「OK」ボタンをクリックしてください。メッセージとコマンドプロンプトが終了し、同時通訳システムの停止が完了します。



(4) 停止処理が完了したら、画面右下のタスクトレイのこちらのアイコンが消えていることを確認してください。



(5) 続いて、こちらの Windows メニューをクリックします。右下の電源マークから「シャットダウン」を選択すると、パソコンが停止します。以上でシステムの停止とパソコンのシャットダウンは完了です。



10. システムトラブル時の対応

10.1 音声認識結果が表示されない場合

(1) マイクの電源がオンの状態になっているかを確認してください。



(2) マイクから離れすぎていると、音声が入らないことがあります。
マイクから 5cm ほどの距離で話すようにしてください。



10.2 音声認識結果の表示が遅い場合

「同時通訳システム」を停止し、再度起動してください。それでも改善しない場合は、同時通訳システムを停止した後、パソコンをシャットダウンし、パソコンの電源を入れるところからやり直してください。

※再起動およびシャットダウンの方法は P.18 を参照してください。

10.3 モバイルモニターへのタッチ操作が効かない場合

パソコンとモバイルモニターを繋いでいるケーブルを一度抜き、再度差し直してください。

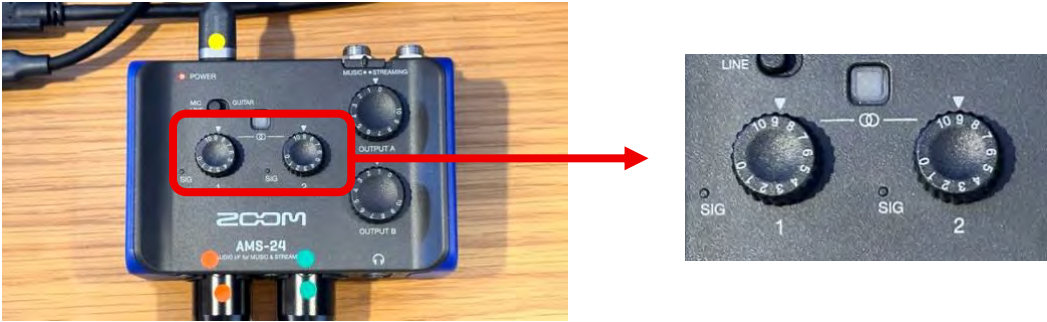


10.4 ポインター（白い矢印）を見失ってしまった場合

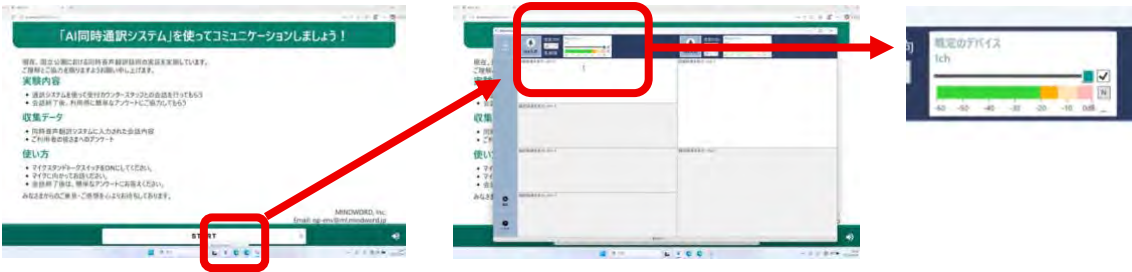
[Ctrl]、[Shift]、[1] を同時に押すと、ポインターがパソコンの画面中央に戻ります。

その後、タッチパッドに触れて少し動かすと、ポインターが表示されます。

10.5 相手の発話の回り込みや雑音により、意図しない発話内容が出力される場合
 まず、オーディオインターフェースのつまみが「9」に設定されていることを確認してください。



それでも改善しない場合は、画面下のメニューバーから「SUGOI」のアイコンをクリックし、デバイス設定画面にて、マイク使用時の音量が緑色の領域内になるよう声の大きさや顔の位置を調整してください。



10.6 翻訳結果の表示画面が消えてしまった場合

残っている画面の URL をコピーし、新しいタブにペーストしてください。ペースト後に、URL の最後の数字を以下のとおりに書き換え、Enter キーを押すと、再度翻訳画面が表示されます。

接遇者側の画面を表示させる場合：ch= 1

来訪者側の画面を表示させる場合：ch= 2



※接遇側と来訪者側の翻訳結果の表示画面がどちらも消えてしまった場合は、一度システムを終了し、再度システムを起動させてください。システム停止の方法は P.18 を参照してください。

本システムご利用にあたってのお問い合わせ先

マインドワード株式会社
np-env@ml.mindword.jp